

研究内容の説明書について

奨学金受給者を書面審査で行うことから、最も重要な提出物がこれになります。

本人の所属している研究室がどのような研究を行っており、それがどのように社会に貢献することになるのか。そこで大学院生として自分が行う研究がどのようなもので、どのような関わりを研究室の研究と持っているのかとか、関わりが少ないのであればその研究がどのような社会的意義があるのかなどを説明してもらいます。

さらに、大学院での研究を自らの将来にどのように活かしていきたいかなど、一種の自己推薦書のようなものとして書いてもらいます。

奨学金受給者の決定

基本的に家計収入による制限はありませんが、一応の目安として税込みで年額1200~1300万円程度までであれば給付対象とします。

そして、提出してもらった研究内容説明書を審査の対象として受給者の決定をします。その過程で、優劣の判断が付き難い場合には、家計の状況なども考慮の対象として決定していくことになります。



財団法人 沼津理数教育奨学会

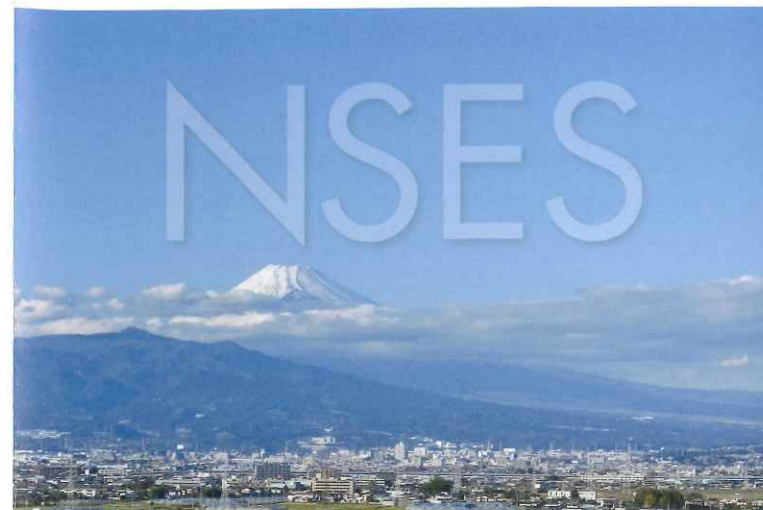
T410-0807 静岡県沼津市錦町2番地の12

TEL.055-952-1586

財団法人 沼津理数教育奨学会

理系大学院生のための奨学金制度

理数道場
記/念/奨/学/金



沼津理数教育奨学会について

理数道場という塾を開き、理系の大学への進学を手伝い始めて25年が経ちました。ヒトスギ塾時代と合わせると40年もの間、学習面で地方の高校生たちの応援をしてきました。

理数道場だけでも多くの教え子が理系の難関大学に進学し、さらに大学院に進んでいます。

そんな中、病気治療中の兄が想定外の経過で死去したことで、その遺産を相続することになりました。さほどの額の遺産ではありませんが、これを無駄なく利用するために自ら財団を設立し、奨学金制度を創設しました。既存の公益財団法人への寄付という形でなく、これまでの自分自身の教育活動の延長として、地方出身者の応援をしていきたいと考えてのことです。

天然資源などが少ない日本にあっては、科学技術の研究や開発は非常に重要なことです。企業に加え、大学院での研究もその一翼を担っています。院生はそこで学ぶだけでなく、研究室の研究そのものへの参加者にもなっています。

そのような理系大学院生を経済的に支援し、学習・研究に心置きなく向かえるように応援する組織が沼津理数教育奨学会です。

代表理事 増田誠司



理数道場記念奨学金について

地元（沼駿学区・田方学区）の高校及び中学校の卒業生で、下記の指定大学の理系大学院に進学した者を対象にした奨学金です。

基本的に各学年毎2～3名を選び、修士課程在学期間である2年間分の奨学金を提供する予定です。修士課程を無事に終了した場合には弁済を免除することになります。

支給額は年36万円を予定しています。他の奨学金との併給に関しては特に問題にはなりません。出身学校については、他地区からの地区内高校への入学者・地区内中学からの他地区高校への進学者も含まれます。

受給条件は特に設けませんが、奨学金支給決定の過程で考慮することになります。

指定大学

北海道大学・東北大学・東京大学
東京科学大学・早稲田大学・慶応義塾大学
名古屋大学・京都大学・大阪大学・九州大学



学部

・理学部・工学部・農学部・薬学部
・その他理系学部



奨学金に対するエントリーについて

多くの大学院生の応援をしてあげたいのはやまやまですが、現実的に可能な人数は学年当たり2～3名で、応募者の中から選考をすることになります。この応募行為そのものが時間的・金銭的にマイナスになることがないように、応募者に対して進学祝い金を贈ります。

応募は大学院進学後、4月末くらいまでに応募書類の提出をしてもらいます。応募書類は指定大学に多くの進学者を出している沼津東高、葦山高などでは高校でも入手できるようにしてもらう予定です。

一般的には、当財団に郵便などで請求してください。応募書類は2月くらいから入手できるようにしておきます。

主な書類は次のようになります。

- ① 出身高校の教師の推薦書
- ② 大学院又は大学の研究室指導教官の推薦書
- ③ 大学院在学証明書
- ④ 学費負担者の家計状況の報告書
- ⑤ 応募者の大学院における研究内容の説明書

推薦書は成績などの記載の必要はなく、どのような高校生活を送っていたかとか、研究生活をしてを書いてもらえればそれで構いません。在学証明は在学を証明できる何らかの書類のコピーで足りります。家計報告書はこちらで用意した書面に記入してもらいます。

高専卒塾生の提出書類について

大学編入後の大学院進学の場合

通常の高校からの大学進学と同じ扱いとなり、担任などからの推薦書は卒業証明書の代わりとしてのものであって、どのような学生生活をしていたかなどの内容で構わないです。学内での成績等の評価には使われません。推薦を頼める方が見当たらない場合には、卒業証明書の提出をしてください。大学院進学時の推薦書は高校からの進学者と同様になります。

専攻科からの大学院進学の場合

専攻科卒業そのものが大学卒業にあたることになり、また、他大学の大学院への進学になるので、専攻科での指導教官からの推薦書は重要な書類になります。どのような内容の卒業研究を行っていたのか、その研究に対する学校内での評価がどのような程度で、場合によっては学外への発表行動の有無やそこでの評価などを記載してもらうことになります。同時に普段の学習・研究に対する向き合い方などのアピールなども構いません。

なお、専攻科卒業生については推薦書はこれのみで、高校卒業又は高専卒業に対応する推薦書は不要です。